

令和元年度試験研究の評価について（概要）

1 評価対象課題

- (1) 事前評価・・・次年度実施予定の新規課題
- (2) 中間評価・・・実施中の課題
- (3) 事後評価・・・前年度の終了課題

2 評価体制および評価機関

(1) 1次評価

各試験研究機関の研究課題について所管課が作成（部内評価）した中から、重点施策に関わる課題、社会情勢等を考慮し、外部評価の必要性が高いと思われる課題を抽出し、外部評価アドバイザーの意見を聴取。

(2) 2次評価

外部評価アドバイザーの意見も参考に評価分科会が2次評価案を作成し、研究機関検討会で調整後、科学技術調整会議で最終的に決定。

- ① 評価分科会（令和元年10月29日）・・・2次評価素案の作成
- ② 研究機関検討会（令和元年12月3日）・・・2次評価案の決定
- ③ 科学技術調整会議（令和2年1月14日）・・・評価決定

3 評価項目

(1) 事前評価

研究ニーズ、計画、目的の妥当性や施策目標との関連性

(2) 中間評価

進捗状況、研究を取り巻く内外の状況変化、成果の見通し

(3) 事後評価

当初計画との相違、目的の達成度、成果の活用

4 評価指標

事前評価、中間評価、事後評価ともA、B、C、Dの4段階評価。

5 令和元年度外部評価アドバイザー

| 所 属 | 役 職 | 氏 名 |
|--------------------------------|---------|--------|
| 国立大学法人福島大学 | 教授 | 佐藤 理夫 |
| 公立大学法人宮城大学 | 教授 | 金内 誠 |
| 国立大学法人福島大学 | 教授 | 金子 信博 |
| 国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北水産研究所 | 資源環境部長 | 栗田 豊 |
| 国立保健医療科学院 | 上席主任研究官 | 温泉川 肇彦 |
| 国立大学法人東京大学 環境安全本部 | 教授 | 飯本 武志 |
| 国立大学法人筑波大学 アイソトープ環境動態研究センター | センター長 | 恩田 裕一 |